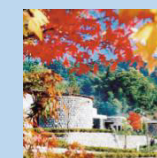
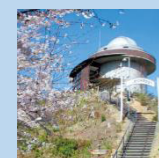


市町村合併検証報告書 【概要版】（案）

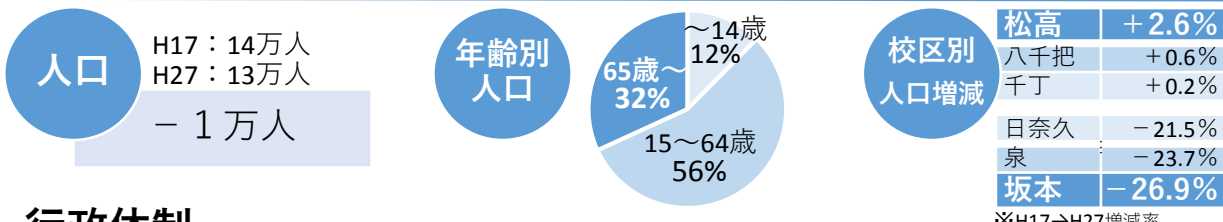


合併後の変化

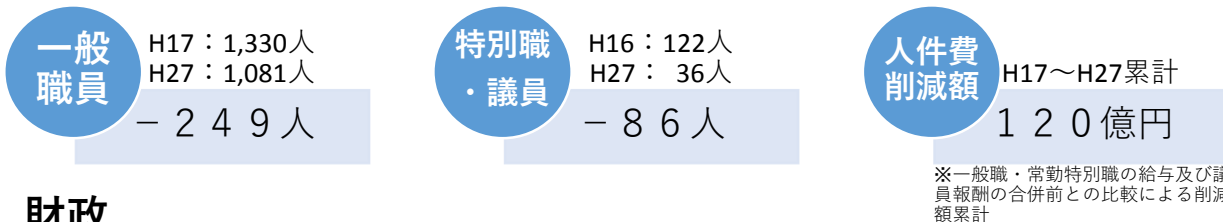
合併後どう変わったの？



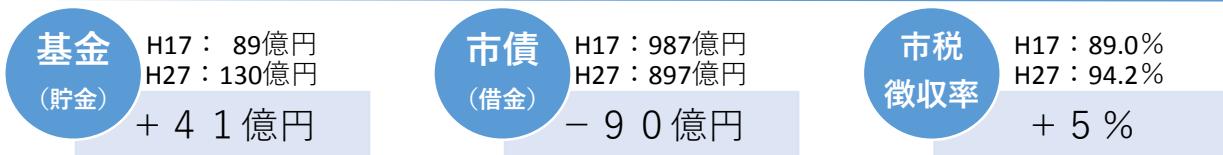
市の概要



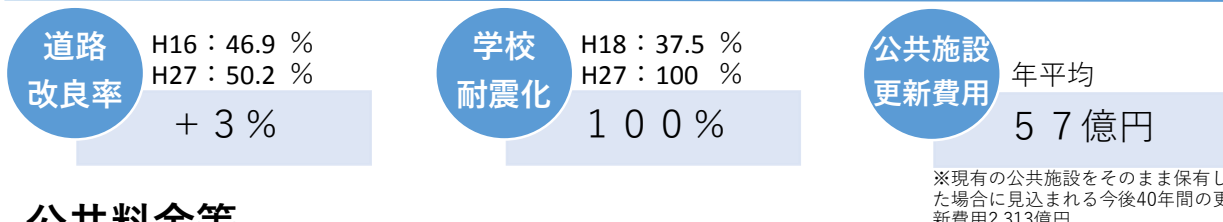
行政体制



財政



公共施設等



公共料金等



市民意識調査



効果

合併で期待されていた効果はどうだったの？



① 高齢化社会で多様化する行政ニーズへの対応

- 行政サービス
 - 高齢者・子育て支援などの福祉の充実
 - 窓口対応や利便性など行政サービス向上
 - 市報、ラジオ、インターネットなどによる情報提供の充実
- △公共料金等の負担
 - △介護保険料や下水道料金など公共料金等が上昇傾向し、市民の負担が増加

② 行財政運営の効率化と基盤強化

- 行政体制
 - 合併時に特別職や議員定数が大幅削減
 - 一般職員の削減
- 財政
 - 基金残高は増加し、市債残高は減少
 - 財政の健全度を測る財政指標が改善

③ 広域観点からのまちづくり

- 合併支援措置の活用
 - 国の合併支援措置を活用し、広域的観点からのまちづくりに必要となる各種計画策定、幹線道路整備、観光物産施設整備、防災行政無線整備などを実施
- △社会資本整備
 - 学校耐震化、道路や上下水道整備の進捗
 - △公共施設の老朽化に伴う施設更新費用の増大により、将来の財政を圧迫する可能性大
- △地域の活気・にぎわい
 - △市民意識調査において、3人に1人が合併後「地域の活気・にぎわい」が低下したと回答(中心部・周辺部にかかわらず回答多数)

課題

検証で見えてきた課題と原因は？



課題1 公共料金等の負担増

- 【課題】合併後、公共料金等が上昇傾向にあり、市民の負担感が増している。
- 【原因】人口減少や高齢化による負担と受益のバランス変化

課題2 公共施設等の更新費用増加

- 【課題】合併前の旧市町村がそれぞれに建設した公共施設の老朽化が進み、将来の施設更新費用が財政を圧迫する可能性が高い。
- 【原因】公共施設の建設時期の集中
高齢化による社会保障費の増加に伴う建設事業費の減少

課題3 地域の活気・にぎわいの低下

- 【課題】合併後、全市的に地域の活気・にぎわいが低下している。
- 【原因】人口減少、高齢化及びそれに伴う地域経済規模の縮小
雇用の環境悪化やミスマッチによる若年層の人口流出

今回の検証を通して整理した課題については、主に人口減少や高齢化、若者流出などに起因するものでした。今後、「負担と受益のあり方の検討」「公共施設の縮減や複合化」などの人口減少に適應する施策と「産業振興・雇用対策」などの人口増加に資する施策を並行して取り組んでいく必要があります。